２０２３年８月３日

息子のような犠牲を再び出さないでください

都内在住　父・母

　私どもの息子は、東京五輪のメイン会場となった新国立競技場の建設土木工事を担当しました。デザイン変更などがあり、工期がひっ迫していたために、早朝から深夜におよぶ長時間労働が毎日のように続いた結果、心身の健康を損ない、2017年3月に23歳の若さで死亡しました。

息子の笑顔を二度と見ることができない悲しみは、生涯癒えることはありません。

　2025年に開かれる大阪・関西万博の施設づくりを担当する建設労働者には、残業の上限規制が適用されない可能性があるとお聞きしました。とても心配しています。万博が大切な行事であったとしても、建設業で働く労働者がいのちと健康を奪われることがないように、切に願っています。私どもの息子と同じような犠牲が発生しないよう、関係者の方々が適切な措置をとられることを心よりお願いします。